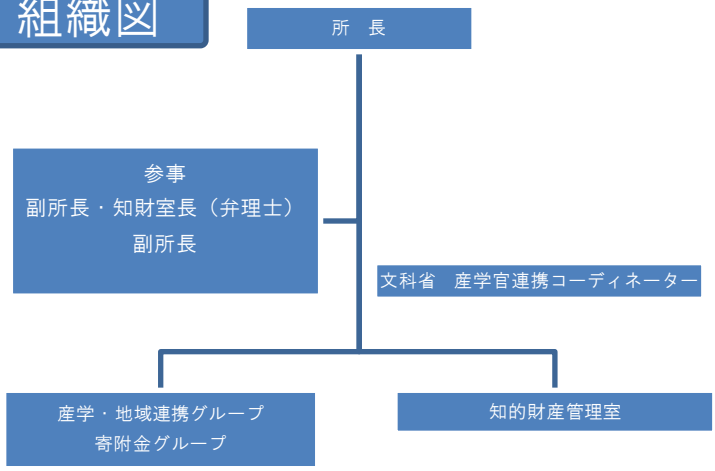
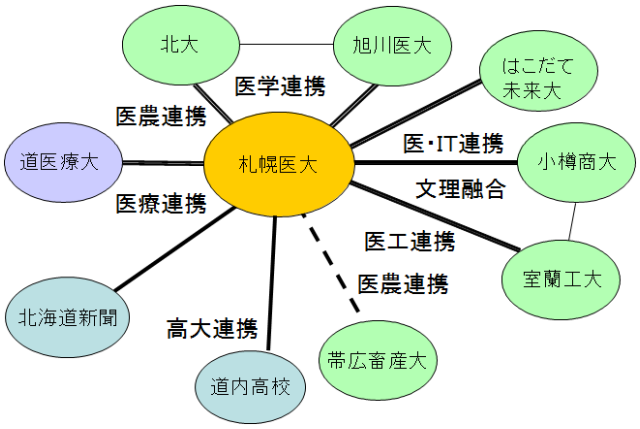
札幌医科大学　附属産学・地域連携センター

附属産学・地域連携センターは産学・地域連携グループ、寄附金グループ、知的財産管理室（知財室）の３つのグループ、室からなり、外部研究費や寄附金の受け入れ・管理から、共同研究・受託研究の推進、知財の発掘、管理・活用を行っています。学内外の情報窓口として学内の研究の推進を支援し、企業や社会へ積極的に情報発信を行います。

組織図



他大学・他機関との連携の推進



平成２０年度の主な取り組み

文部科学省「知的クラスター創成事業（第ＩＩ期）」

北海道の優良な農・水・畜産素材が含み健康に有用な成分を検証・評価し、機能性成分や栄養成分製品等を作り出すシステムを構築し、その産業基盤を確立させることを目指します。（北海道大・札幌医大・旭川医大）

文部科学省　橋渡し研究支援プログラム「オール北海道先端医学・医療拠点形成」

札幌医大を責任機関として、札幌医大、北海道大、旭川医大の３大学により「北海道臨床開発機構」を設立し（事務局は北大内）、３大学を中心として開発されたシーズの中から有望なシーズを発掘し安全性評価や試験物製造を援助し、適切な臨床計画立案を指導し、治験に結びつけます。

文部科学省　現代ＧＰ「医学研究者・地域医療従事者支援型知財教育」

大学院生をはじめとする医学研究者や地域医療従事者を対象とした知財教育を実施しております。受講者の多様なニーズ・意欲に対応したコース設定で、基礎知識から技術移転の実務までの内容となっております。今年度からはe-Learning配信を開始しております。

札幌医科大学附属産学・地域連携センター
http://web.sapmed.ac.jp/ircc/
TEL（０１１）６１１－２１１１（内線２１６８）
E-mail : renkei@sapmed.ac.jp